

日本循環器学会認定
循環器専門医研修カリキュラム
(第4回改訂2013年)

このカリキュラムは、日本循環器学会認定循環器専門医となるための研修内容の一つであり、そのための達成目標となるものである。

また、このカリキュラムは日本内科学会認定内科専門医制度研修カリキュラムを達成していることを前提とする。達成目標は次表のように、A, B, C, Dの4段階に分ける。

達成目標	検査法および治療法	病態および疾患各論
A	独立して、施行または判定できる。	主治医として経験する。
B	指導者の下で、施行または判定できる。	指導者の下で経験する。
C	施行できない場合、見学する。	経験がない場合、見学する。
D	経験しなくても十分な知識を有する。	経験しなくても十分な知識を有する。

I. 検査法

1. 身体所見（聴診等） A
2. X線診断
 - a. 胸部単純X線撮影 A
 - b. 心血管造影
 - 1) 左室造影 B
 - 2) 大動脈造影 B
 - 3) 冠動脈造影 B
 - 4) 右心系造影 B
 - 5) 末梢血管造影（動脈、静脈、リンパ管） B
 - c. X線CT (computerized tomography) B
3. 心電図
 - a. 標準12誘導心電図 A
 - b. 運動負荷心電図 A
 - c. ホルター心電図記録 A
 - d. ベクトル心電図 D
 - e. 体表面心電図マッピング D
 - f. 加算平均心電図 C
 - g. 心臓電気生理学的検査 B
 - h. ヘッドアップチルト試験 D
4. 心音・心機図 C
5. 末梢動脈検査 (ABI) B
6. 超音波検査
 - a. 経胸壁エコー図 A
 - b. 経食道心エコー図 B
 - c. 運動負荷心エコー図 D
 - d. 頸動脈エコー図 B
 - e. 末梢動脈エコー図 C
7. カテーテル検査
 - a. スワン・ガンツカテーテル検査 A
 - b. 心（左・右）カテーテル検査 B
 - c. 心筋生検 C
 - d. 血管内視鏡 D
 - e. 血管内エコー(IVUS) C
8. 心拍出量 B
9. 循環血液量 D
10. 動・静脈圧（モニタ） A
11. 心臓核医学検査
 - a. 心筋シンチグラフィ（血流・代謝） B
 - b. 心プールシンチグラフィ D
 - c. 肺血流シンチ D
 - d. PET D
12. 心臓MRI (magnetic resonance imaging) B
13. 高血圧検査
 - a. 眼底検査 A
 - b. 腎盂造影 C
 - c. レノグラフィ、レノシンチグラフィ C
 - d. 腎・副腎静脈カテーテル検査 C
 - e. 腎動脈造影 B
 - f. 24時間血圧測定 B
14. 心肺運動負荷試験 D
15. 睡眠時ポリグラフ D

II. 治療法

1. 一般的事項
 - a. 薬物動態・血中濃度 A
 - b. 薬物効果・副作用 A
 - c. 食事療法 A
 - d. 禁煙指導 A
 - e. リハビリテーション・運動療法 A
 - f. 手術適応 A
2. 救急処置
 - a. 救急蘇生法 (BLS・ALS) A
 - b. 心膜穿刺術 B
 - c. 一時ペーシング（体外的も含めて） A
 - d. 大動脈内バルーンパンピング (IABP) B
 - e. 心肺補助装置 (PCPS) C
3. 薬物治療
 - a. 強心薬 A
 - b. 利尿薬 A
 - c. 抗不整脈薬 A
 - d. 血管拡張薬 A
 - e. 降圧薬 A
 - f. 昇圧薬 A
 - g. 自律神経薬 A
 - h. 抗凝固薬・抗血小板薬 A
 - I. 血栓溶解薬 A
 - j. 脂質代謝改善薬 A
 - k. 抗生物質 A
 - l. 経口糖尿病薬 A
 - m. 肺高血圧治療薬 C
4. 植込み型ペースメーカー B
5. 植込み型除細動器 (ICD) C
6. 心臓再同期療法 (CRT) C
7. 経皮的冠動脈血栓溶解療法 B
8. 経皮的冠インターベンション(PCI) B
9. 経皮的血管形成術 (PTA) C
10. バルーン弁形成術 D
11. 血液透析・腹膜透析 B
12. カテーテルアブレーション C
13. コイルによる血管閉塞治療（動脈管、側副血管） D
14. 循環補助 D
15. 心臓手術
 - a. 冠動脈バイパス手術 C
 - b. 弁置換・形成術 C
 - c. 大動脈グラフト術 C
 - d. 左室形成術 C
 - e. 心臓移植 D

III. 病態・疾患各論

1. 心不全		c. 特定心筋疾患	C
a. 右心不全	A	1) アミロイドーシス	C
b. 左心不全	A	2) サルコイドーシス	C
c. 両心不全	A	3) 筋ジストロフィ	C
2. ショック		4) その他的心筋疾患	D
a. 心原性ショック	A	9. 感染性心内膜炎	A
b. 神経原性ショック	A	10. リウマチ熱	D
c. 出血性ショック	A	11. 心膜疾患	
d. 細菌性ショック	B	a. 急性心膜炎	A
3. 不整脈		b. 収縮性心膜炎	B
a. 頻脈性不整脈		c. 心タンポナーデ	B
1) 期外収縮（上室・心室）	A	d. 心膜欠損	D
2) 頻拍（上室・心室）	A	12. 心臓腫瘍	
3) 心房粗動	A	a. 粘液腫	B
4) 心房細動	A	b. 肉腫	D
5) 心室細動	A	c. 転移性心臓腫瘍	D
b. 徐脈性不整脈		13. 肺性心疾患	
1) 洞不全症候群	A	a. 肺血栓塞栓	A
2) 房室ブロック	A	b. 肺高血圧（特発性肺動脈高血圧など）	A
c. 心室内伝導異常		14. 先天性心血管疾患	
1) 脚ブロック	A	a. 心房中隔欠損	A
2) 二枝ブロック・分枝ブロック	A	b. 房室中隔欠損	B
3) WPW症候群	A	c. 心室中隔欠損	A
d. その他		d. Eisenmenger症候群	A
1) アダムス・ストークス症候群	A	e. 肺動脈狭窄	B
2) QT延長症候群	B	f. Fallot四徴症	A
3) 人工ペースメーカに伴う不整脈	B	g. 動脈管開存	A
4) 特発性心室細動（Brugada症候群など）	C	h. Ebstein奇形	B
4. 心臓突然死	C	I. 三尖弁閉鎖	D
5. 血圧異常		j. 大動脈縮窄	C
a. 本態性高血圧	A	k. 肺静脈還流異常	C
b. 二次性高血圧	A	l. 冠動脈奇形	C
1) 腎性（腎血管性を含む）高血圧	A	m. Valsalva洞動脈瘤	C
2) 内分泌性高血圧	A	n. 肺動脈静脈瘻	C
c. 低血圧	A	o. 大血管転位	C
d. 起立性低血圧（Shy-Drager症候群を含む）	A	p. 両大血管右室起始	C
6. 虚血性心疾患		q. 総動脈幹症	C
a. 安定労作狭心症	A	15. 全身疾患に伴う心血管異常	
b. 冠攣縮性狭心症	A	a. 甲状腺機能亢進	A
c. 急性冠症候群		b. 甲状腺機能低下	A
1) 不安定狭心症	A	c. 腎不全（急性・慢性）	A
2) 急性心筋梗塞	A	d. 糖尿病	A
d. 心筋梗塞に伴う合併症		e. 血液疾患	A
1) 心室瘤	B	f. 脂質代謝異常	A
2) 心臓破裂	B	g. 膜原病	A
3) 心室中隔穿孔	B	h. 梅毒	D
4) 心筋梗塞後症候群（Dressler症候群）	C	I. 栄養障害	D
e. 陳旧性心筋梗塞	A	j. 中毒性心筋障害	C
f. 無痛性虚血性心疾患	A	16. 大動脈疾患	
g. 川崎病	D	a. 大動脈瘤	A
7. 弁膜疾患		b. 大動脈解離	A
a. 僧帽弁狭窄	B	c. 大動脈炎症候群（高安病）	B
b. 僧帽弁閉鎖不全	A	d. 大動脈弁輪拡張（Marfan症候群を含む）	B
1) 僧帽弁逸脱	A	17. 脳血管障害（脳出血、脳梗塞）	A
2) 乳頭筋機能不全	A	18. 末梢動脈疾患	
3) 僧帽弁腱索断裂	A	a. 動脈硬化	A
c. 大動脈弁狭窄	A	b. 動脈瘤	A
d. 大動脈弁閉鎖不全	A	c. 急性動脈閉塞（血栓・塞栓）	A
e. 肺動脈弁閉鎖不全	D	d. 閉塞性動脈硬化	A
f. 三尖弁狭窄	D	e. 閉塞性血栓血管炎（Buerger病）	B
g. 三尖弁閉鎖不全	A	f. Raynaud症候群	A
h. 連合弁膜症	C	19. 静脈・リンパ管疾患	
8. 心筋疾患		a. 上大静脈症候群	B
a. 心筋炎	A	b. 血栓性靜脈炎・深部靜脈血栓症	A
b. 心筋症		c. 静脈瘤	A
1) 肥大型心筋症	A	d. リンパ管炎・リンパ浮腫	C
2) 拡張型心筋症	A	20. 心臓神経症・神經循環無力症	A
3) 催不整脈性右室心筋症	C	21. 失神	
4) 拘束型心筋症	D	a. 神經調節性失神	A
5) 心筋緻密化障害	D	b. 心原性失神	A
6) たこつぼ心筋症	C		

IV. 医療倫理・他

1. 医療倫理	A
---------	---